

# 子どもや保護者の心をつかむ伝え方

2018年8月7日

花まる学習会代表 高濱正伸

## 1. 人前で話すとは

(1) 人前で話すことの価値

正しい情報は、本でもネットでも手に入ります。わざわざ人前で話すことの価値は、何だと思いませんか。

(2) 人前で話すときの、注意点を書いてみてください。

## 2. 人前で話すときの、必要条件

(1) 聞く価値のあるコンテンツ。

(2) 心ゆさぶる伝え方。 ex. 読み上げる司会者。「正しいこと」は言ってくれているが、眠くなる授業。

- ① 話術 引き付けているか。どう話せば効果的かを知っていて実践できる。
- ② 色気(魅力) 同じ話でもこの人が話すと面白い。自分の流派を定める。「流麗に語る」も「剛毅木訥」もそれぞれにセクシー。
- ③ アンテナ たった一人でも、「集中してないな」という目をしたら、感じて修正を加える敏感さ。聞き手中心の空間づくり。

## 3. 言葉を究める

(1) 自分の言葉

- ① 借り物でない、受け売りでない言葉。
- ② その人の哲学や信念が感じられる。  
「正しいこと」はもともと共通。「信念」と「哲学」は、人を揺さぶる。
- ③ 行動する→感じる→考える→言葉にする が王道。
- ④ 日報のススメ→絶えざる取材・エピソード拾い  
子どもって可愛いな、美しいな、いじらしいな…、のスケッチを集める。
- ⑤ 日記のススメ→そこにしか書けない本音。厭らしい自分・弱い自分とも直面することが、哲学の第一歩。
- ⑥ 本質を見る。ex. 某省審議会 枝葉をもっともらしく語る人 vs 本質に迫る人
- ⑦ 本質力の鍛え方：見えないものを見る力。要点で語る。レベルの高い友人を持つ。事象と事象の「共通点」を言う。そのタスクの目的を意識する。

(2) 強い言葉

- ① 「理屈」は弱い。「やったこと」「自分が経験したこと」は強い。
- ② へー：「そうだったんだ」という知識やトリビア。知らなかったこと。
- ③ うわあ：物語の予想外の展開、驚き。
- ④ あるある：皆が「そういうこと、あるねえ」と共感できる話
- ⑤ 可愛い・かわいそう：エピソードに入りこめている。
- ⑥ なるほど：「そう理解すればよいのか」というような、納得感。
- ⑦ 斬新な視点。着眼点。みんなと違うからこそその価値

### (3) 伝わる言葉

- ① 他者性1) 相手の感情：目の光を読む。目の前の相手はどう感じているか。→楽しませて、みんなが集まる人生だった人は、目の輝きを感じながら話す習慣ができています。  
×「段取り通りに話す」vs「空気＝聞き手たちの目を感じて微修正しながら話す」
- ② 他者性2) 相手のイメージ：A自分の脳のイメージ→B語っている言葉→C相手の脳内のイメージ。AとCは、しばしば、いや大抵ずれる。ここをいつも意識できる人は、分かりやすく話せる。ex 池上彰
- ③ 強い思い。信念。
- ④ 精一杯生きている感触。精一杯語ってくれている感触。
- ⑤ 氷山の下を感じる：圧倒的経験総量・思考総量・言語化総量。「隠している爪」がチラリと垣間見える。
- ⑥ そもそも人の魅力：苦労している。自信。愛され感。情熱。めげない。素直。誠実。思いやる温かさ。笑わせ上手。若さ。尊敬できる。
- ⑦ コラムのすすめ：相手のある文章を真剣に集中して書く。力ある人たちに評論してもらったり添削してもらったり、感想を言ってもらおう。
- ⑧ 講演研修のススメ：保護者相手を想定し、10～15分のミニ講演を行う。上記のすべてを問われる抜き差しならない場に飛び込んでいく。

◇社外秘：講演研修のポイント

- ①素材選び 自分の経験が主材料 素材エピソードの豊富さ 涙と笑いとエグミはあるか。
- ②料理法 なりきる・清潔感・堂々たる姿勢・声のトーン・身振り手振り
- ③スパイス 可愛げ・一生懸命 母の「可愛げボックス」に入れば勝利。ユーモア。間。切り替わりのタイミング、相手の反応を読む、テンポ、緩急、集中力と気迫、最後まで押し切る信念。哲学。

## 4. 講演練習

与えられたお題について、5分スピーチを作って演じてみてください。

お題：

メモ：

## 5. まとめ

保護者、特に母親たちの前に立つときは、本日のテーマは有効です。相談に来られたとしても、答えを言うのではなく、「事例」をミニミニ講演として語ると、ホッとして味方・応援団になってくれます。父親相手でも、先生同士での発表でも同様。

保護者会でも、「伝達事項をきちんと言う」のではなく、それは紙一枚で「読んでおいてください」として、10～15分の講演+話を聞く場にすれば、(講演が魅力的ならば)、大応援団が出来上がるでしょう。

本日参加したみなさんの、授業力や講演力アップの一助となりますように。